

～集うふれあいや在宅でのふれあいの場と機会をつくり「心のつながりを感じる」事業を推進します～

大野地区社協だより



ぼたん桜

～地域とともに ころろつながる～

令和5年3月<<第33号>>

発行/大野地区社会福祉協議会

〒879-6441 大野町田中 80-1

TEL 0974 (34) 2071

FAX 0974 (34) 2600



大野町福祉ふれあいスポーツ大会

令和4年11月3日(水)に大野地区社協主催のふれあいスポーツ大会が大野総合運動公園グラウンドで開催されました。前回優勝の萩原淳一さんによる選手宣誓に続き、市社協の左右知常務理事と地区社協の首藤会長の始球式で協議がスタート。雲一つない青空のもと、爽やかな秋風を感じながらグラウンドゴルフの熱戦が繰り広げられました。競技の結果は以下のとおりです

- 優勝 後藤教昭さん
- 準優勝 後藤文夫さん
- 第3位 原野富子さん



令和4年11月8日(火)午後1時より大野公民館で認知症家族会「わすれな草の会」主催による講演会が開催されました。講師として大分県希望大使 戸上守さんと認知症ピアサポートなどでこ代表の吉川浩之さんをお招きし、「認知症になっても大丈夫」と題してお話をいただきました。戸上さんは50代で認知症を発症し職場(市役所)を早期退職しましたが持ち前の明るさと、周りの人の協力で今では自分が経験した事や認知症になっても楽しく生きられることを多くの人に発信し、希望の星🌟となっています。

「認知症は怖い病気ではありません。早期発見、早期治療で認知症になっても楽しく生きていく事ができますよ」と熱く語っていました。

認知症は将来、高齢者の3人に1人は発症すると言われています。認知症を正しく理解し周囲の方が温かくサポートできるかどうか、問われる時代がきています。

認知症家族会 講演会

～ 認知症になっても大丈夫 ～



わすれな草の花

広報紙「ぼたん桜」は赤い羽根共同募金の助成を受けて作成しています。

～令和4年度 大野町地域ささえあいフォーラム



令和4年12月18日(日)午前10時から大野公民館で大野町地域ささえあいフォーラムが開催されました。自治委員や福祉委員、民生委員の方々が参加され大分市のNPO法人 福祉コミュニティ KOUZAKIの事務局長さんより地域づくりのお話を頂きました。「普段の暮らしの中で無理のない見守りが大事」とのことです。終了後は自分の住む地域を見つめ直すため、グループごとに話し合いをしました。

地域ささえあい アンケート調査結果



今回のフォーラムでは参加者に「地域ささえあい」に関するアンケート用紙への記入をお願いし、30名の方から回答がありましたのでその主な結果をお知らせします。

◎今回の講話を聞いて地域ささえあいの重要性を感じましたか

大いに感じるが23名、少し感じるが6名で、ほとんどの方が地域ささえあいの重要性を認識しています。

◎「お住いの地域で今後5年先、10年先の生活環境に不安を感じることはありますか」

大いに感じるが21名、少し感じるが6名、あまり感じないが3名で、多くの方が将来に対する不安を感じていることが分かります。

◎お住いの地域でささえあい組織の必要性を感じますか

大いに感じるが16名、少し感じるが10名、あまり感じないが2名でささえあい組織の程度の差はあれ必要性を感じている方がほとんどです。

◎お住いの地域で地域ささえあいの組織をつくることは可能だと感じますか

可能と思うが2名、良く説明すれば可能7名、隣近所のささえあいなら可能15名、できそうにない6名で、できそうにない理由として、担い手がない、リーダーがない、余裕がない、などでした。

将来の不安を感じ、地域ささえあい組織の重要性は十分わかっているものの、さあ！つくる、となると・・・

「住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らしたい！」 誰もがそう願っています。

まずは、第1歩として **“みんなで話し合う場”** を地域でつくってみてはどうでしょう。

広報紙「ぼたん桜」は赤い羽根共同募金の助成を受けて作成しています。

あなたのまちの民生児童委員をよろしくお願ひします



民生委員
児童委員

令和4年12月1日全国で民生児童委員の一斉改選が行われました。大野町は新任委員8名、再任委員10名で、同じく再任された主任児童委員2名を含む20名の委員が1期3年間、大野町の地域福祉のため必要な方の見守りや生活上の困りごとなどの相談に応じます。みなさん、民生児童委員をよろしくお願ひします。



氏名	担当地区名	氏名	担当地区名
新宮 浩幸	町・若藤	廣瀬 英一	両家・津留・原
坂本 真一	佐代・妙勝庵	大島 政博	矢田・大字小倉木
荒木 京子	南・北・木原	後藤 金実	十時地区
工藤 一郎	藤北・府手・高野	椎原 修	杉園
大木 義政	宮迫・片島	安藤 多恵子	後田北
細井 克久	田代・駒鹿	首藤 恵里	後田南
陣野 千恵子	酒井寺・屋原	衛本 正行	大字安藤
森 常喜	桑原・北園	村上 秀明	中土師・沢田
森下 美喜子	大原	椎原 郁雄	主任児童委員
倉原 雅子	郡山・中原	坂本 由美子	主任児童委員



～第2回いきいきサロンリーダーのつどい～

令和5年2月9日(木)に大野公民館で「いきいきサロンリーダーのつどい」が開催され町内16サロンの代表者18名が参加されました。長年継続的に活動してきた2つのサロンに対して地区社協の首藤会長から賞状と記念品が贈られました。研修会では身近な問題となっている空き家対策について「空き家サポートおおいた」の工藤さんから話を頂き知識と理解を深めたところです。これからも高齢者に交流と憩いの場を提供されるよう継続的な活動にご期待します。



継続10年の春日サロン



継続7年の町サロン



空き家問題について研修



つながりで「安心できる地域」にしませんか

「小地域見守り活動」



例えばこんな方は
いませんか

～ 身近に自分のことを気にかけている人がいます～



家に閉じこもりがちな
人がある



ゴミを出しにいけない
人がある



家の周りの草を切れ
ない人がある



家の電球を換えら
れない人がある



物に恵まれていなかった昔は「向こう3件両隣」という言葉があって「困ったときはお互い様」の精神で助け合い、田舎ならではの良き文化があり、生活に工夫がありました。今では、車、テレビ、パソコン・・・物が満ちあふれ豊かになったけど、心はどうでしょう。都市化と情報化社会の影響で「人とのつながりが希薄」になってはいませんか。人は誰でも歳をとります。体が不自由になったときに助けてくれるのは、車？ テレビ？ パソコン？・・・ いやいや、それは 人 です。元気な今だからこそ人とのつながりを大事にして「困ったときはお互い様」の精神を復活させましょう。

豊後大野市社会福祉協議会には「小地域見守り活動」があります。自治会で「見守り活動を始めたい」「詳しい話を聴きたい」などありましたらお気軽に下記連絡先までご連絡ください。

【お問合せ先】

豊後大野市社会福祉協議会 大野支部 電話 0974-34-2071
お待ちしております。



みなさんこんにちは！身近な相談窓口 **地域包括おおの** です！

介護や健康・医療のほか、もの忘れや困りごと、ご自身、ご家族のことなど一人で悩まずお話を聞かせてください。

相談員 衛藤 浩子



大野支所内 大野町田中 55 番地 1 電話：090-7582-4484
電話対応時間 平日 8：30～17：00